

(付属資料3) 学校裁量枠において重視する観点及び選抜方法の概要等

※「選抜において重視する観点」に★印がついている選抜段階においては、第2志望の科までの併願を希望することができます。
 ※今後、令和4年度に比べ募集定員に変更があった高等学校においては、選抜割合を変更する場合があります。
 ※選抜対象を「希望者」とした学校裁量枠（「中学校における学習」を除く。）について、「設定の目的」に記載しました。

会場番号	学校名	科名	選抜段階	選抜において重視する観点		選抜割合	選抜対象	選抜方法の概要	選抜資料						参考資料 事前調査票			
				審査項目	調査書				学力検査	面接	学校独自選抜資料							
											作文	実技検査	その他					
19	沼津西	普通	I	〔設定の目的〕	本校は校訓「克己」の下、高い志を持ち地域に貢献できる人材育成のため、普通科において選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、学業と両立させながら練習に取り組み、該当部活動の実績向上に貢献するとともに、他の生徒の模範として主体的に学校生活を送ることを期待している。													
				体育的活動	12%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。	○	○	○		○		○				
				陸上競技、サッカー（男）、バレーボールにおける実績、適性、活動意欲														
				中学校における学習	18%程度	希望者	学力検査の結果が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における5教科の評定合計に優れた者を合格者とする。	○	○	○								
				5教科の学習成績														
				芸術	I	100%	全員	調査書の学習の記録における9教科の評定合計に問題のない者を対象に、実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に著しく問題のある者を除く。	○	○	○		○		○			
39	静岡農業	生物生産 生産流通	I	〔設定の目的〕	本校は、部活動に真摯に取り組み、高い意欲のある生徒の育成を通じて、地域に貢献できる人材を育成するため3つの運動部で選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、個々の能力を開発し、部活動の活性化に貢献するとともに、他の生徒の模範として積極的に学校生活を送ることを期待する。													
				体育的活動	8%程度	希望者	調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達しており、調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。	○	○	○		○		○				
				ハンドボール、野球（男）、剣道における実績、適性、活動意欲														
				中学校における学習	42%程度	希望者	調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。	○	○	○								
				9教科の学習成績														
				79	浜松城北工業	機械 電子機械 電気 電子 (各科共通)	I	〔設定の目的〕	本校は、社会の発展に貢献できる有為な工業技術者の育成を目指しており、さらなる学校の活性化を図るために選抜段階Ⅰを設定する。入学した生徒には、本校の中核的な存在として、部活動の活性化に貢献し、自らの技術向上に努力する姿勢が他の生徒の模範となることを期待する。									
体育的活動	20%程度	希望者	調査書の諸項目の記載事項及び面接の結果に問題がなく、調査書の学習の記録における9教科の評定合計が一定水準に達している者を対象に、調査書の諸活動の記録及び実技検査の結果に優れた者を合格者とする。ただし、学力検査の結果に著しく問題のある者を除く。					○	○	○		○		○				
野球（男）、サッカー（男）、体操（男）、剣道、柔道、陸上競技、バレーボール（男）における実績、適性、活動意欲																		
中学校における学習	30%程度	希望者	調査書の諸項目の記載事項、学力検査及び面接の結果に問題のない者を対象に、調査書の学習の記録における9教科の評定合計に優れた者を合格者とする。					○	○	○								
9教科の学習成績																		

① 科名

1つの欄に2つ以上の科名が書いてある場合は、それらの科をまとめて募集（くくり募集）することを示しています（上表○で示した部分）。

1つの欄に2つ以上の科名が書いてあり、最後に（各科共通）とある場合は、募集は別々ですが、選抜方法が共通であることを示しています

（上表○で示した部分）。

② 設定の目的

選抜対象を「希望者」とする学校裁量枠（「中学校における学習」を除く。）について示しています。

③ 選抜段階

1つの科でⅠ、Ⅱなどと分かれている場合は、この順番に選抜することを示しています。

段階を追って選抜を行わない場合は、Ⅰのみになっています。

- ④ 選抜において重視する観点
各実施校の選抜段階ごとに何を重視して選抜するかを示しています。
★は第2志望の科まで志願することができる選抜段階を示しています。
- ⑤ 審査項目
④の具体的な内容を示しています。使われている言葉の意味は次の通りです。
ア 実績……中学校内外における当該活動の記録
イ 適性……高校における活動に適応できる当該活動についての資質・能力
ウ 活動意欲……高校入学後に当該活動を3年間継続する意欲
エ 9教科……国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語
オ 5教科……国語、社会、数学、理科、英語
カ 種目名（男）……その部活動では男子のみが対象であることを示しています。
キ 種目名（女）……その部活動では女子のみが対象であることを示しています。
ク 種目名のみ……その部活動では男子、女子両方が対象であることを示しています。
※審査項目に「活動意欲」と記載している場合、入学後に当該活動を続けることが求められています。
なお、当該活動に関する学校裁量枠に志願しない場合でも、当該活動に関する部活動に入部することができます。
- ⑥ 選抜割合
募集定員に占める、各選抜段階の合格者の割合を示しています。
1つの科で選抜段階がⅠ、Ⅱなどと分かれている場合は、選抜段階ごとに分割して選抜する際の割合を示しています。全募集定員は、11月上旬に公表する予定です。前年度選抜における募集定員から変更がある学校については、選抜割合を変更することがあります。
- ⑦ 選抜対象
各実施校の選抜段階ごとに、希望者だけを対象に実施する選抜か、全員を対象に実施する選抜かを示しています。
- ⑧ 選抜方法の概要
各学校で実施する選抜方法の概要を示しています。よく読んで、どのような受検者が合格者となるのか確認してください。「著しく問題のある」、「一定水準に達している」、「問題のない」、「優れた」等の具体的な基準は、各実施校により異なります。
- ⑨ 選抜資料
学力検査・調査書・面接はすべての選抜段階で使用されます。
学校独自選抜資料は、○印のついたものを用います。科や選抜段階ごとに異なる場合があります。
学校独自選抜資料の概要については、11月中旬に各中学校に配布します。
「その他」には、実技検査、作文以外の学校独自選抜資料の名称（適応力検査等）が示されています。
- ⑩ 参考資料
事前調査票は、実技検査等の準備に当たり使用するもので、採点したり評価したりするものではありません。入学願書提出の際、併せて提出します。事前調査票の記載内容については、11月中旬に各中学校に配布する学校独自選抜資料の概要においてお知らせします。

学校裁量枠の選抜に関するQ&A

Q1 学校裁量枠ではどのような選抜をするのですか？

共通枠とは異なる各学校独自の選抜方法により合格者を決定します。その際、学力検査・調査書・面接の他に、実技検査などの学校独自の選抜資料を加えることがあります。

Q2 希望者を対象とした学校裁量枠は誰でも受検できるのですか？

もちろんです。
中学校における競技実績等にかかわらず誰でも志願することができます。
実技検査では、適性等をみています。